



かみこあにむら  
議会だより

# みどり

第 175 号

発行 令和 2 年 8 月 7 日

編集 議会広報編集委員会

秋田県上小阿仁村議会

TEL 0186 (77) 2226

FAX 0186 (77) 2227



## 短冊に願いを込めて

(保育園ほしまつり)

6月定例会

■ 一般会計補正予算	.....	P 2
■ 人事案件、常任委員会	.....	P 4
■ 一般質問 4人が登壇	.....	P 5
■ 議会の動き	.....	P 9
■ 編集後記	.....	P 10

# 6月定例会



令和2年第3回定例会は、6月10日から12日まで3日間の会期で開催しました。一般質問は4人が登壇し、「新型コロナウイルス感染拡大に対する村の対応」、「土地改良区の存続問題」、「ICT教育にタブレット端末を」、「人口減少と少子化対策の定住・移住施策」など12項目について質問しました。

本会議初日には、法改正等による条例4件の専決処分報告を承認、最終日には一般会計補正予算や各特別会計補正予算、条例改正案など11件を原案どおり可決しました。また、任期満了に伴う農業委員6人の人事についても同意しました。

## 一般会計

令和2年第3回定例会は、6月10日から12日まで3日間の会期で開催しました。一般質問は4人が登壇し、「新型コロナウイルス感染拡大に対する村の対応」、「土地改良区の存続問題」、「ICT教育にタブレット端末を」、「人口減少と少子化対策の定住・移住施策」など12項目について質問しました。

本会議初日には、法改正等による条例4件の専決処分報告を承認、最終日には一般会計補正予算や各特別会計補正予算、条例改正案など11件を原案どおり可決しました。また、任期満了に伴う農業委員6人の人事についても同意しました。

## 休業補償

### 170万円追加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、村が休業要請を行った事業者に対して休業補償を行うものです。

### 子育て世帯への応援 臨時給付金

### 149万円

令和2年度一般会計補正予算は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業など1454万円を追加し、補正後の総額は25億3548万8千円になりました。



仏社字国見沢地区の間伐事業予定箇所

## 特別会計

特別会計補正予算は、4会計で総額265万8千円を追加し、補正後の総額は12億328万1千円になりました。

て世帯への経済的負担軽減のための給付金です。

来に向けて良質な財産造成を行うものです。

### 中間サーバープラットホーム負担金 220万円追加

マイナンバーを管理する中間サーバーを管理するための負担金です。

### 造材事業委託料 1855万円減額

新型コロナウイルス感染拡大により木材の価格が落ち込み、回復の兆しが見えないことから、皆伐と搬出のみこあにプロジェクトの負担金を減額するものです。

### 新型コロナウイルス感染症対策事業継続応援給付金 1810万円

新型コロナウイルス感染拡大により、前年より20%以上の売り上げが落ち込んだ事業者に対して、事業を継続してもらうために給付するものです。

### 造林事業 408万円追加

切捨て間伐を実施し、将

# 条例改正・その他

## 専決処分報告

- ▼会計年度任用職員の給料及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 施設の休業によって休職した。
- ▼職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部改正
- 員を休職とする場合の事由を定める規定が整備されました。

### 条例改正等



上小阿仁橋撤去箇所(羽立地区)

- ▼固定資産評価審査委員会条例の一部改正
- ▼村税条例の一部改正
- ▼国民健康保険税条例の一部改正

いずれも国の法律の改正等により条例の改正が必要となつたもので、3月31日に専決処分されたものを承認しました。

- ▼国民健康保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者に対して傷病手当金を支給できるよう整備されました。

- ▼後期高齢者医療に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者に対して傷病手当金を支給できるよう整備されました。

- ▼村道路線の廃止及び認定
- ▼介護保険条例の一部改正
- ▼教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるため、2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

(提出者)

秋田県教職員組合

執行委員長 櫻田 大館北秋支部

支部長 永瀬 知己

- ◆地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての陳情

(提出者)

連合秋田大館地域協議会  
議長 山内 一滋

## 陳情 3件

について  
上小阿仁橋の撤去に伴い、  
村道路線の終点の位置が変更となりました。

例の制定を求める陳情書  
(提出者)  
食と緑、水を守る秋田県  
労農市民会議

議長 石田 寛

## 意見書 3件送付

採択された陳情に伴う意見書3件を議員発議し、最終日の本会議において可決されました。

専決処分は、議会を招集する時間的余裕がない場合等に村長が議会に代わって意思決定しますが、直近の議会に報告して承認を求めるべきでした。今回、4件の専決処分報告はいずれも臨時会が開催された5月15日前に専決されていましたので、本来は5月15日開催の臨時会に承認を求めるべきでした。

佐藤議員は発言の中で副村長不在が原因ではないかと指摘し、監査委員も含めて早期に人事案を提出するよう村長に要請しました。

## 本会議で 村長が陳謝



最終日に付託結果を報告する伊藤常任委員長

## 人事案件

6件

### 農業委員会委員の任命に同意

農業委員会の委員は、平成27年の法改正によつて農業委員の選出方法を選挙制と村長の選任制から「村長の任命制」に変更となり、議会の同意を得ることが必要となりました。

このほど、任期満了に伴う農業委員会の委員の人事案件が提案され、議長を除いて無記名投票を行なつた結果、いずれも満場一致で同意しました。

新たな任期は、令和2年7月20日から令和5年7月19日までの3年間です。



平川 光氏  
(昭和58年8月19日生)  
小沢田



田中 良道氏  
(昭和47年11月13日生)  
小沢田



齊藤 鉄子氏  
(昭和24年7月18日生)  
上仏社



小林 重太郎氏  
(昭和21年6月28日生)  
下五反沢



小林 史弥氏  
(昭和58年3月2日生)  
沖田面



原田 誠悦氏  
(昭和28年10月12日生)  
沖田面

総務産業常任委員会に付託された議案第5号から議案第15号と陳情3件について、6月11日に審査が行われました。



委員会審査の様子



仏社字国見沢地区において切捨て間伐箇所の説明を受ける

6月12日、林業大学校に研修場所として使用させる予定の五反沢字国見沢地区的村有林と、補正予算に計上されている切捨て間伐箇所の仏社字国見沢地区村有林を現地視察しました。

## 村有林を視察

## 常任委員会付託議案

## 質問

# 新型コロナウイルス感染拡大に伴う今後の対応は

拡大に伴う今後の対応は

村長



【河村良満議員】

各集落に感染症対策防護キットを

休職中の従業員等に  
支援

河村議員 5月15日に開催された議員全員協議会において説明された対策では働く人への支援が欠けていた。今回の感染症拡大により事業主より休職を要請された方もいるので給付金を支給する考えはないか。

村長 休業手当を支払う義務があるのは使用者であると考える。国が1人10万円

を給付する「特別定額給付金」がこれに該当すると考えている。

村独自で行う場合は、対象者の範囲や基準となる就業の実態、給与等収入の減少の確認が煩雑でむずかしい。国の2次補正では「休業支援金」が設けられるようなので、村の支援が組み入れられるか検討する。

小中学校臨時休校による学業の遅れ対策

河村議員 小中学校の臨時休校時における学習への対応と学習の遅れの解消法は。

教育長 休校中、学校の先生たちは定期的に家庭を訪問し、学習や課題の進捗状況について相談などを行なってきた。休校中も臨時出

感染症対策に伴う備蓄

河村議員 自然災害を想定した備蓄は確保されていると思うが、感染症対策に係る備蓄品が必要ではないか。

村長 他の自治体の動向も参考にしながら、各集落用の感染症対策防護キット等を考えている。備蓄品を充実させていき

校日を設けて学習の遅れを取り戻すための時間を作った。さらに、夏休みを短縮して休校中の遅れの対応にあたる。少人数であることのメリットを活かした対策ができている。

河村議員 2016年6月に大館市、北秋田市、小坂町で発足していた地域連携DMOに村も参加した。これまで、多額の負担金を支払っているが、負担金に見合う効果が見えない。今後、どのように活用していくつもりなのか。

村長 今年度よりDMOが



地域センターの備蓄倉庫

ふるさと納税サイトの拡大

河村議員

ふるさと納税でかかるサイトは一社のみとなつてはいるが、数社に増やす考えはないか。

村長 昨年度の寄付額は増加となつてはいる。特に米と山菜は好評でリピーターの方がたくさんいる。サイトの複数化は、限ある返礼品の対応方法や異なる魅力づくりなどと併せて検討し、今後も寄付額の増加となるよう努力する。

たい。

DMO秋田犬ツーリズムの活用

河村議員 2016年6月に大館市、北秋田市、小坂町で発足していた地域連携DMOに村も参加した。

これまで、多額の負担金を支払っているが、負担金に見合う効果が見えない。今後、どのように活用していくつもりなのか。

村長 今年度よりDMOが

主導した「北秋田・上小阿仁まるごと体験推進協議会」により農家民宿等の増加を図る。体験活動を通じて観光消費の増額を目指しており、村からも参加している人がいる。

村ではいろいろな体験などをつなぐメニュー企画などを行いたいが、受け入れ態勢が整っていない。観光客を受け入れる体制や企画、広報などをDMOの組織力を活用しながら村で活動する事業者を育成していくいたい。